

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年10月22日(金)

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.25

文責：松永 尚子

研究授業を行いました。(3年生)

19日(火)に、3年生国語の研究授業を行いました。内容は、「例の書かれ方に気をつけて読み、それを生かして書こう」という単元で、「説明文『すがたをかえる大豆』(国分牧衛著)から筆者の工夫を読み取り、科学読み物を用いて自分の好きな食べ物について調べ、その食べ物のひみつをみんなに教えるための文章を書く」という学習をします。研究授業は、その中の「食べ物のひみつの文章を書くにあたって、その組み立てと例の書き方を考える」という学習をしました。子どもたちは、まず、自分の「食べ物のひみつメモ」をもとに、「例をどの順番にするか」考え、班で発表し、お互いにアドバイスをしました。日頃から、タブレットを使い慣れている子どもたちですので、組み立てメモを作るのは簡単にできました。班の話し合いの後、全体発表をしてよりよくするためにアドバイスし合いました。

伊藤つきさんの学習の振り返りを紹介します。「私の一番よかったことはらいかちゃんにアドバイスしたことです。理由は、私はあんまりアドバイスをしないからです。もっと学習してみたいことは魚のことだけでなくいろいろなものを調べることです」と書いていました。素敵な「食べ物のひみつ紹介文」ができそうです。



研究授業のあと、授業研究会を行いました。助言者の指導力向上アドバイザー高山裕子先生(築山小)から、「子どもが学びの主体者になるために」たくさんのアドバイスをいただきました。これからも、子どもたちが粘り強く課題に向き合い、自己調整力をつけ、課題を解決する力を身に付ける授業づくりを進めます。

子どもの体力向上推進プロジェクト ICTを活用した公開授業

10月18日(月)に、南関町で行っている「子どもの体力向上推進プロジェクト」の一環で、四小の2年生が公開授業を行いました。これは、東京女子体育大学と連携してICTを活用した授業を実施するものです。8月末から、担任の上村教諭は、東京女子体育大学の末永祐介准教授から、オンラインでアドバイスを受けて、学習計画や授業の流れを考えてきました。

この日は、4つのグループでマット運動の12の技(だるまころがり、背支持倒立、カエルの足うちなど)を練習し、末永先生からアドバイスをいただきました。体育の専門の先生からほめられたり、的確なアドバイスをいただいたりして、子どもたちのやる気はますます上昇します。また、4つのグループの練習の様子も末永先生や大学の学生が見て、東京から担任の耳にアドバイスが届きますので、一人では気付かないことにもすぐ対応できます。ICTを活用した、これからの時代の授業は、様々な工夫ができるなど感じました。この事業をしていただいた南関町に感謝したいと思います。



学校情報化優良校認定を受けました。

14日(木)に日本教育工学会(JAET)から、学校情報化優良校として認定されました。これは、「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校が認定されます。

四小では、3年生以上の一人一台タブレット活用をはじめ、授業におけるデジタル教科書やICT機器の活用、ICT活用についての校内研修、子どもたちのキーボード入力能力向上など、積極的に取り組んでいます。タブレットの持ち帰っての活用も図っているところです。今後も、これからの時代を生きていく子どもたちに必要な力を身に付けさせることができるよう頑張ります。

